

徳島県立阿南支援学校ひわさ分校

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会 会議録

1. 日時	令和 8 年 7 月 1 日 (水) 14:00～16:00<家庭科室>
2. 会次第	資料の確認等
1) 開会	
2) 学校長挨拶	(校長より) 昨年度の委員の意見を反映し、学校運営の改善につながったことへの謝辞。今年度も、子どもたちが「通いたい」と思える魅力ある学校づくりを目指す。また、昨今の災害状況を踏まえ、特別支援学校が「避難所」として役割を担う重要性や、校内のトイレ洋式化などの環境整備について話があった。
3) 自己紹介	
4) 会長・副会長の選任	
5) 会長挨拶	会長を務めて 5 年目になることや、みなさんで協力して教育を進めていきたいとの挨拶であった。
6) 協議	①学校運営協議会要綱の改定 ・地域学校共同活動推進員の設置：県の指針に基づき、学校と地域を繋ぐコーディネーターとして「地域学校共同活動推進員」を置くこととなった。今年度は、B&G の活動等で協力のある方をお願いすることを伝え、承認を得た。 ②ひわさ分校の取り組みについて ・校長より 3 つの重点課題の説明 ・各部・各課の目標や具体的な取り組みを説明 小学部の AI-PAC について具体的に説明を行った。 ③自由討議・質疑応答等 1) 薬王寺での「お接待」とインバウンド対応 ・昨年度外国人観光客の参拝者が増えて、言葉の壁を感じたことについて、対応に関して意見をいただいた。 - 翻訳アプリの活用を ALT 来校時に練習するようにして、活動時に活かせるようにする等の意見をいただいた。 ・お接待の文化の説明として、プレゼントの中に説明をした紙を英語で入れるなどの工夫をして、学校のことを知ってもらえるようにしてもいいのではとの意見をいただいた。 2) 不登校児童生徒への支援について ・不登校傾向の生徒が増えてきている要因について質問があった。理由は様々であるが、学校に入学後に不登校になっているというより、中学校で不登校傾向であった状態からの入学が増えている。分校を選ぶ理由として、少人数であることから、手厚く、ゆったりと支援が受けられることでの選択が多いように感じている。 3) AI-PAC の運用と生徒への配慮 ・学習状況を可視化することによって生徒にどのように共有していくかについて質問があった。生徒に色がついている状態を見せることで、他者と比較して、落ち込んだりする場合はないか。→基本的には教員間の情報共有や分析のために活用している。 ・生徒の発達段階を把握できることや、経験が浅い教員でも、エビデン

	スに基づいた一貫した指導ができるようになるメリットがあることを共有した。 4) 地域における就労の現実と定着の課題 ・雇用先をどのように探していくのかについて質問→県南部では障がい者雇用の枠が少なく、実際に雇用した経験がある企業も限られている。生徒・保護者の希望に応じて、ハローワーク等と連携しながら進路担当が中心となって探している。 ・高等部の視点としては、小中学部のボトムアップの視点より、実習を通して経験したことで見えた課題等をもとに、トップダウンで直接必要な部分にフォーカスして指導を行っていく場面が多い。 ・就職先で定着できることも重要であるため、現場実習を通して働き続けることができるかも見ている。
3. 今後の予定	・第2回：11月20日（金）午前（公開授業と併せて実施予定） ・第3回：2月18日（木）or22日（月）を軸に調整 ・行事：運動会（10月3日）、文化祭（11月14日）、あわふうど号（1月30日）
4. 閉会	・委員からの多様な視点での意見に対するお礼と、阿南支援学校が30周年を迎えることをお伝えした。